

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月8日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0290100064		
法人名	有限会社ながしま		
事業所名	グループホームながしま		
所在地 (電話番号)	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目1-2 (電話) 017-723-7466		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月29日	評価確定日	平成21年12月8日

【情報提供票より】(平成 21年 10月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 18年 12月 12日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 15人, 非常勤 3人, 常勤換算	15.1人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	25,200 ~ 冬期31,200 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			

### (4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性 8 名	女性 10 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	7 名	要介護4	4 名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢 平均	78.8 歳	最低	54 歳
		最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	森山クリニック、仲條歯科
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成21年4月新築された木造2階建て、2ユニットで外観、内装とも落ち着いた雰囲気である。青森市中心部に位置し、周囲には商店、病院、会社等がある住宅街である。「福祉の心」「利用者本位」「自立支援」「ケアの質の向上」「地域や家族との交流」を掲げ、利用者、職員には笑顔が見られ、馴染みの関係が保たれている。管理者を中心に落ち着いた言葉掛け、係わりにより利用者は穏やかな表情をされており、安らぎのある事業所である。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価には全職員が参加し、職員の意見は反映されている。その結果に対しても具体的な改善策が実践されている。例えば前回の改善課題であった「食事を楽しむことのできる支援」については改善され、利用者と共に食事をし、食事状況を把握し、サービスの質の向上に努めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者、職員は評価の意義、目的を理解し、全員で取り組んでいる。外部評価と併せ伝達され、改善可能なものについて取り組みがなされている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催されている。開催日や出席メンバー等は年間計画の中に盛り込まれており、外部評価の結果並びにその取り組み、ホームの状況、行事への協力依頼、参加者より意見をいただき、サービスの向上に活かし、ホームへの理解を深めていただいている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>各階に意見箱を設置すると共に、面会時に気軽に要望等につき話し合える雰囲気づくりに努め、きめ細かに対応し、経過報告もされている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>平成21年4月に新築、移転開設事業所である。それにも係わらず、盆踊り開催時は地域の婦人会の方々が参加している。地域との交流は深まりつつあるが緊急時等の連携迄には至っていない。地域住民の一員としてより開かれた存在であることの自覚を強め、更なる取り組みを期待したい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員は地域密着型サービスの意義を理解し、「福祉の心」「利用者本位」「自立支援」「ケアの質の向上」「地域や家族との交流」という独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内に掲示され、啓発が図られている。また、運営者より日常的に話され、定期的な研修を実施し、職員の共有がなされ、実践に活かされている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	平成21年4月新築、移転した事業所である。地域の一員として盆踊りを主催し、ボランティアとして町内会婦人部が参加し、模擬店、ゲーム等を実施し交流が図られている。買い物、散歩時地域の方々と気軽に声を掛け合い、お付き合いができるよう積極的に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価、外部評価については、全職員が理解している。自己評価時には全職員が取り組み、評価結果についても話し合わせ、改善に取り組み、サービスの向上に努めている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回、会議が実施され、日時、参加メンバー等が年間計画の中に盛り込まれている。具体的な改善取り組み等の報告、話し合いがなされ、その内容は記録され、全職員へ報告されている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも運営上の問題点、課題解決のため行き来する機会があり、市担当者には更に理解を深めてもらうため、積極的に連携を図り、対応の指示を仰いでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、地域福祉権利擁護事業制度を利用している方がいる。職員は制度を理解し、支援している。権利擁護、成年後見制度等の外部研修にも参加している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待、拘束の防止について全職員が理解しており、日頃から細心の注意が払われ尊厳を重視した取り組みがなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書に基づいて、利用料以外の費用、事故のリスク等について説明を詳細に行い同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時、状況報告や金銭管理報告等を併せ行っており、必要に応じて電話連絡をし、きめ細かく対応している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃の面会時に気軽に意見や要望が話し合えるように努めている。苦情処理についても明示され、申し立てをしやすい体制が作られている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は馴染みの職員が支援する事は重要と考えている。離職の際は利用者への声掛けの徹底等により、コミュニケーションを密にし、ダメージを防ぐよう配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内外の研修には可能な限り、毎年計画的に参加し、その結果は報告し、記録されている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所は地域の4事業所との交流会、相互訪問を実施し、自らの取り組みを見つめ直すきっかけ作りの取り組みを行っている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前面談で、家族・知人より、利用者の生活歴・趣味・性格等の情報を聞き取り、本人が馴染みながら安心して生活できるよう努めている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の意見に耳を傾け、残存機能の活用や希望を取り入れ、コミュニケーションを大切にしながら利用者のペースに合わせ、支えあう場面ができるよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の言動・表情から真意を汲み取り、希望や意向の把握に努めている。困難な場合は本人の視点に立って話し合いをしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者並びに家族の言葉や思いを主体とし、関係者間の話し合いをもとに全スタッフ協働して個別の介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月1回全職員によるミーティング、定期的なアセスメント等で気づきや意見を出し合い、介護計画が確認されている。状況に変化のある場合にはその都度変更され、現状に即した介護計画が作成されている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・家族の状況に応じて、暮らしの継続に必要な外出、通院支援等柔軟に対応している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者・家族の希望するかかりつけ医となっている。また、病状に応じて医師の往診もされている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者・家族の意思を尊重し、早くから家族・医師・職員を交えての話し合いがあり、関係者全員の方針の共有化が図られている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉掛けや対応等は管理者が職員に日々指導し、穏やかに対応されている。記録物については事務室で保管され、プライバシーの保護の徹底がなされている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかな流れに沿って支援している状況であるが、体調や気分の変化に配慮し、希望を確認しながら出来るだけ自由に過ごしてもらえるように努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と職員と一緒にテーブル拭き、後片づけ等をし、会話も弾み、食事を楽しまれている。職員は同じテーブルで食事をし、見守り中心の方も楽しめるよう声掛けに努めている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴回数や曜日の取り決めはあるものの、希望により曜日や時間の変更は可能となっている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴、興味等を尊重しながら張りのある生活を支援している。買い物、散歩等の気分転換も適宜図られている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>日常的に声掛けをし、週1回の外出支援は確実に行われ、また、個別に応じて戸外の外出がなされている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアは管理者・ホームの確固たる方針で、全職員が認識し実践している。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中、利用者の所在確認に注意を払い、玄関・居室共に自由に出入りできるよう施錠されていない。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>本年4月に新築、移転している。夜間想定避難訓練が1回実施されているが、移転間もない事でもあり地域住民の協力が得られる体制には至っていない。</p>		<p>地域住民との協力体制に向けての取り組みを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は併設有料老人ホームの栄養士が作成している。食事摂取量、水分確保については記録され、体調や好みに合わせた内容や形態を変え対応している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症予防マニュアルが作成されており、職員の研修・伝達も行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
34	78	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや玄関、廊下等の共用空間には季節に合った飾りつけがなされ、室温、明るさが適度に調節され、利用者が居心地よく過ごせるよう努めている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者、家族と相談し、馴染みのものや好みのものを持ち込んでもらい、その人らしく過ごせる居室となっている。		

 は、重点項目。